

注意 1. 電報の取扱いは慎重に願います。
2. 電報についての照会は検閲班（内線2171、2174）に連絡願います。

電信写

08-027

大 政事外外儀官
大務務 典房
次次
臣秘官官審審長長

政正経環査國 外
代ア大大察審 研
表大使使大参 長

総儀対会要厚情研
察人園在警史才図

外 報 官 審 報 園 内 外 準
文 長 審 〇〇

領 移 長 参 政 保 対 旅 外

審 密 〇 平 企 国

審 密 軍 不 原 料

国 長 参 行 専 人 難 地

〇 地 中 東
〇 北 東 西

北 米 官 審 一 二 保

南 長 審 一 二

長 参 西 口 東
西 新 洋
二 独

近 了 長 審 一 二 ア ア
一 二

経 密 総 漁 国 審
参 経 工 国 阪
一 永 二 準
経 途 一

参 海 密 準

経 密 政 調 国 開 無
協 民
長 審 緊 評 技 有 理

〇 審 参 条 協 規

〇 審 国 研 究 調 査
長 一

総 番 号 R155106

月 21日

平成 7年 7月 21日

韓 国 発 着
本 省

亜 北

外 務 大 臣 殿

山 下 大 使

対日論調（日本の原爆製造企図：報道振り）

第2320号 至急（ゆう先処理）

（以下FAX送信 SO8444-01）

20日付け当地主要紙は、日本が第2次世界大戦当時、原爆の製造を企図したとの内容の記事を掲載しているところ、概要次のとおり（関連記事別FAX信）。

1. 報道ぶり

(1) 掲載紙：韓国日報 6面4段抜き

見出し：日本、第2次世界大戦当時、原爆製造を企図

(AFP・ロイター・連合＝東京)

(2) 掲載紙：中央日報 1面6段抜き

見出し：日帝も原爆造ろうとした。北朝鮮産ウラニウム利用…

分離できず失敗 (AFP・ロイター・連合＝東京)

(3) 掲載紙：東亜日報 7面2段抜き

見出し：日本、第2次世界大戦当時、原爆製造を企図

日本軍将校出身が証言 (AFP・連合＝東京)

2. 報道概要：

(1) 日本が原爆投下50周年行事を準備している中で、日本も第2次世界大戦当時、原子爆弾の製造を企図したことをこの計画に参加した鈴木タツバロウ(84才)前日本軍中佐が、19日、暴露した。

(2) 鈴木氏は、この日、外信記者クラブで行った記者会見で、ニシナヨシオ博士を始めとした50名の科学者が原爆製造に参加したと明らかにし、当時の日本の理論物理研究はかなり進んでいて原子爆弾製造に関する理論的技術を確認していたものの、核心となるウラニウム235を満足に値する水準にまで分離できず失敗したと主張した。

(3) 鈴木氏は、原子爆弾製造計画は1940年から皇室の支援の下で物理科学研究所(RIKEN)により行われ、当時としては巨額の1千万円の財政支援を受けたと加えた。

(4) 原爆製造に関連し、日本は当時友邦国であったドイツからウラニウム238を購入しようとしたが、ドイツがウラニウムの最終使用先に疑問を抱いたため失敗したと述べた。

(5) 日本は当時、現在の北朝鮮北部でウラニウムを調達し、45年、米国産粒子加速装置を利用し物質分離に成功、ガス状態のウラニウム4～5トンを生産したが、原爆を製造するには及ばなかったと説明した。

(6) また鈴木氏は、日本が当時原爆を開発したならば軍事目的で使ったであろうと述べ、B29爆撃機が発進したサイパン島の米国基地が目標になったであろうと述べた。

日本の原子爆弾製造計画は日本人に全く知られていないし、教科書でも触れていない。

(了)